



デステニー[®]
WDG

除草剤

芝 用



一年生・多年生の広葉雑草に対する安定した残効





デスティニー[®]
WDG

除草剤

芝 用

特 長

● 幅広い除草スペクトラム

- ・タンポポ、オオアレチノギク、ウラジロチチコグサ、チチコグサモドキ、ハハコグサ、ヒメムカシヨモギ、ブタナなどの幅広いキク科雑草に。
- ・オオイヌノフグリなどゴマノハグサ科雑草に。
- ・シロツメクサ、カラスノエンドウなどマメ科雑草に。
- ・その他、カタバミ科、タデ科、ナデシコ科、アブラナ科、オオバコなど。

● 幅広い使用適期幅

雑草発生前から雑草発生初期(3葉期まで)と使用できる時期が広いので余裕を持った防除計画を組むことができます。

● 低い薬量で長い残効性

m²当りの使用量が0.015から0.02g(10アール当り15gから20g)と低く、秋散布で120日以上長い期間広葉雑草の発生を抑えます。

● 使いやすい製剤と包装

作業時の粉立ちが少なく水に溶けやすい製剤です。

包装は100gなので、1000リットルタンクに一袋分投入することで5000m²散布することができます(m²当り0.02gの製剤を水量200mlで散布した場合)

除 草 効 果

キク科、マメ科、オオバコなど幅広い広葉雑草に卓越した除草効果を発揮

使用適期が広いので、ゆとりのある防除計画が組めます。

科 名	和 名	発生前処理		発生初期(3葉期まで)	
		0.015	0.02	0.015	0.02
キク科	アレチノギク	●	●	●	●
	ウラジロチチコグサ	●	●	●	●
	オオアレチノギク	●	●	●	●
	オニタビラコ	●	●	●	◎
	オニノゲシ	●	●	—	—
	セイタカアワダチソウ	●	●	●	●
	セイヨウタンポポ	—	●	○	●
	タビラコ	●	●	●	◎
	チチコグサ	●	●	●	●
	チチコグサモドキ	●	●	●	●
	トキンソウ	○	●	◎	●
	ニガナ	—	◎	△～○	△～○
	ノゲシ	●	●	●	●
	ノボロギク	◎	●	—	—
	ハキダメギク	◎	●	—	●
	ハハコグサ	●	●	◎	●
	ハルジオン	●	●	●	●
	ヒメジョオン	●	●	◎	●
	ヒメムカシヨモギ	●	●	●	●
	ブタナ	—	●	○	◎
アブラナ科	マメカミツレ	●	●	●	●
	ヨモギ	●	●	●	●
	イヌガラシ	●	●	○	◎
アカザ科	タネツケバナ	●	●	●	●
	ナズナ	●	●	●	●
ゴマノハグサ科	シロザ	—	—	●	●
	オオイヌノフグリ	●	●	●	●
	タチイヌノフグリ	◎	●	○	○～◎
	トキワハゼ	◎	●	—	—
	マツバウンラン	—	●	—	—
スベリヒユ科	ムラサキサギゴケ	—	—	●	●
	スベリヒユ	●	●	●	●

科 名	和 名	発生前処理		発生初期(3葉期まで)	
		0.015	0.02	0.015	0.02
ナデシコ科	オランダミミナグサ	●	●	●	●
	ツメクサ	●	●	●	●
	ハコベ	◎	●	○	●
	ミミナグサ	●	●	◎	●
バラ科	ヘビイチゴ	—	—	—	●
ヒユ科	イヌビユ	●	●	—	○
オオバコ科	オオバコ	○	●	○	●
	ヘラオオバコ	—	—	—	◎
トウダイグサ科	オオニシキソウ	—	●	—	—
	コニシキソウ	◎	●	●	●
ベンケイソウ科	コモチマンネングサ	—	—	◎	●
タデ科	ヤナギタデ	●	●	●	●
	ギシギシ	●	●	○	◎
ザクロソウ科	ザクロソウ	●	●	◎	●
マメ科	アカツメクサ	—	—	—	●
	ウマゴヤシ	●	●	●	●
	カラスノエンドウ	●	●	●	●
	コメツブツメクサ	—	—	—	●
	シロツメクサ	●	●	●	●
	ヤハズソウ	△	△	△	△～○
カタバミ科	カタバミ	◎	●	●	●
セリ科	オオチドメ	—	—	—	◎
	チドメグサ	●	●	○	●
カヤツリグサ科	カヤツリグサ	●	●	—	—
	ハマスゲ	X	△	X	X
イネ科	ヒメクグ	—	—	△	△
	オヒシバ	X	X	—	△
	エノコログサ	X	X	—	—
	スズメノヒエ	X	X	—	△
	スズメノカタビラ	○	○	◎	◎
	メヒシバ	△	△	△	△

●：十分な効果 ◎：高い効果 ○：効果あり △：効果不十分 ×：効果なし —：未実施、試験中

■ 日本芝に対する影響

芝種	試験機関	試験年	薬量g/m ² (水量ml/m ²)	散布時の芝の状態	芝への影響
ノシバ	社内試験	H15	0.08(200)	生育期	生育期
	東日本グリーン研究所	H14	0.08(200)	休眠始め	なし
コウライシバ	社内試験	H13	0.08(200)	生育期	なし
	東日本グリーン研究所	H14	0.08(200)	休眠始め	なし

幅広い草種に安定した効果

デスティニーWDGの効果

秋処理で120日以上効果が持続します。0.02g/㎡処理で、幅広い草種に安定した残効が期待できます。

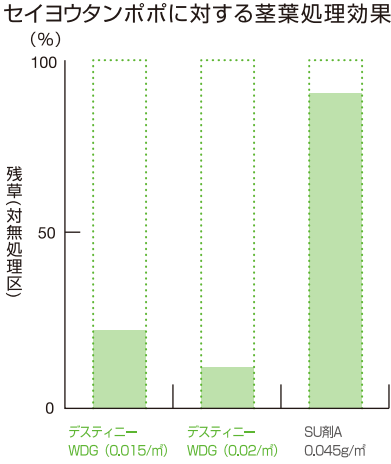
セイヨウタンポポに対する茎葉処理効果(処理98日後)



処理日:2008年1月10日 調査日:2008年4月17日(関東Aゴルフ場)
無処理区において開花が見られるのに対して、デスティニーWDG処理区では開花はほとんど見られず、多くは枯死に至ります。効果の出にくい冬期(1月)の処理でさえも、翌春(処理98日後)まで発生は見られません。

セイヨウタンポポへの殺草力に自信があります

デスティニーWDGはセイヨウタンポポの茎葉処理において、他のSU剤に比べて高い殺草効果を示します。
また、0.02g/㎡処理と0.015g/㎡処理を比較した場合は、前者において、より安定した効果を示すといえます。



シロツメクサに対する茎葉処理効果 [44日後]



東北Aゴルフ場 処理:2007年5月16日

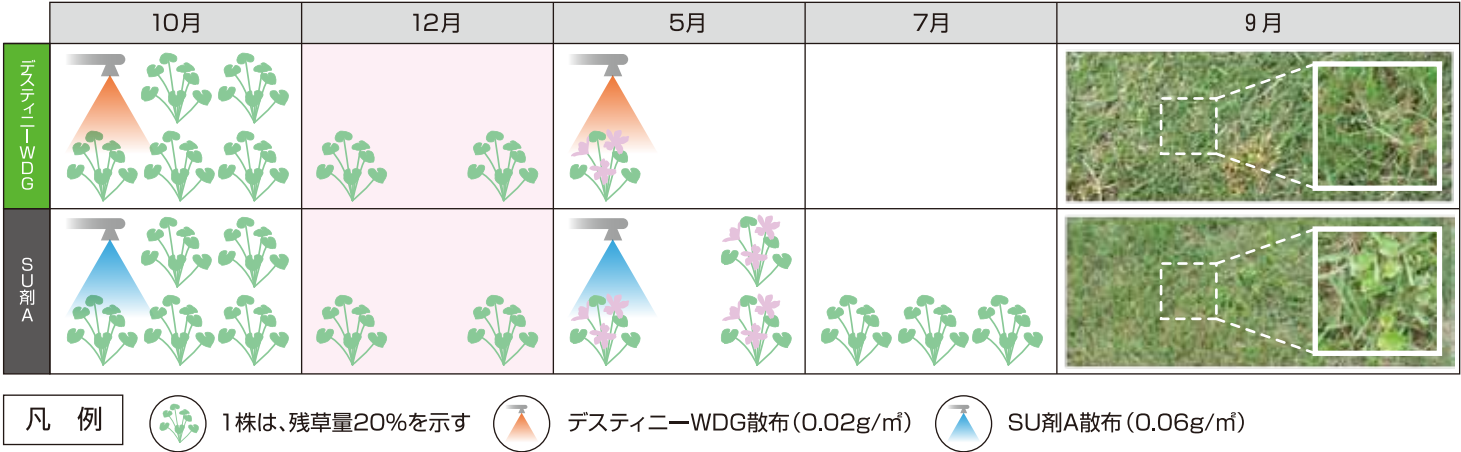
オオバコに対する茎葉処理効果 [30日後]



東北Aゴルフ場 処理:2007年6月27日(4-7葉期)

タチツボスミレに対する茎葉処理効果

日本芝における試験経過を図と写真で示しました。図は10月から翌年7月までの残草率、写真は試験開始約一年後の様子です。
対照薬剤の効果が不十分であるのに対し、デスティニーWDGではスミレの再生が認められません。
デスティニーWDGの秋散布と春散布で、スミレ類の防除が期待できます。



場所:新潟県Aゴルフ場
処理:1回目2008年10月7日,2回目2009年5月13日
調査日:2009年9月16日 1回目処理344日後,2回目処理126日後



デスティニー[®]
WDG

除草剤

芝 用

農 林 水 産 省 登 録
第 2 1 9 5 2 号

適用病害及び使用方法

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	コードスルフロンメチルナトリウム塩を含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量			
日本芝	—	一年生及び多年生 広葉雑草	雑草発生前～発生初期	15～20g/10a	200～300ℓ/10a	2回以内	全面散布	2回以内
樹木等	公園、庭園、堤とう、駐車場、道路、運動場、宅地、のり面、鉄道等	一年生及び多年生 広葉雑草	雑草生育期	40～80g/10a	100～200ℓ/10a		植栽地を除く樹木等の周辺地に雑草茎葉散布	
		クズ		60～120g/10a				

有効成分と性状

種 類 名	ヨードスルフロンメチルナトリウム塩水和剤
商 品 名	デスティニーWDG
有効成分	ヨードスルフロンメチルナトリウム塩10.0%
性 状	淡褐色水和性微粒及び細粒
荷 姿	100g×6袋

人畜・魚介類に対する安全性(製剤)

人畜毒性 (急性) 普通物*	経口	ラット(♂♀)	LD ₅₀ >5,000mg/kg
	経皮	ラット(♂♀)	LD ₅₀ >2,000mg/kg
	皮膚刺激性	ウサギ	刺激性なし
	眼に対する刺激性	ウサギ	刺激性なし
水産動植物に 対する影響	コ イ		LC ₅₀ 117mg/ℓ (96hr)
	オオミジンコ		EC ₅₀ 16.4mg/ℓ (48hr)
	藻 類		ErC ₅₀ 0.19mg/ℓ (0-72hr)

*「毒物および劇物取締法」に基づく「毒劇物の指定を受けない物質を示す」

効果・薬害等の注意事項

- イネ科雑草、カヤツリグサ科雑草には効果が劣るので、イネ科雑草・カヤツリグサ科雑草の優占する圃場ではこれらに有効な薬剤と組み合わせて使用してください。
- 本剤の使用により、芝に黄変などが生じることがありますが、1～2週間回復し、その後の生育には影響を与えません。
- 散布液の飛散、流出による有用作物への薬害に注意してください。
- ライグラスに対して薬害が生じやすいので、飛散しないように注意して散布してください。
- 散布に用いた機具類は、使用後できるだけ早く水で十分洗浄し、他の用途に使用する場合は薬害の原因にならないよう注意してください。
- 使用量、使用時期、使用方法を守り、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

安全使用上の注意事項

- 誤食などがないように注意してください。誤って飲み込んだ場合は吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。
- 眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗いし、眼科医の手当てを受けてください。
- 散布時は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用し、作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをしてください。

水産動植物の被害防止等に関する注意事項...

散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

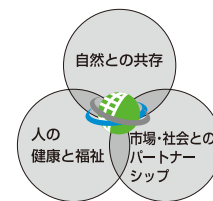
- 公園、堤とう等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意してください。
- 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管してください。
- 食べられません。
- 有効年月内に使用してください。
- 体調の悪いとき、妊娠中、飲酒後等は取扱い及び作業をしないでください。

貯蔵上の注意事項

- 密封し、直射日光を避け、食品と区別して、冷凍・乾燥した場所に保管してください。



バイエルクロップサイエンスでは、将来の世代のニーズを損なうことなく
現代のニーズを満たす、「持続可能な発展」のため、Protecting Tomorrow ... Todayをモットーに
① 人の健康と福祉 ② 自然との共存 ③ 市場・社会とのパートナーシップ
を柱として様々な活動を実施しています。



- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載内容以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届くところには置かないでください。



Bayer

バイエル クロップサイエンス株式会社
エンバイロサイエンス事業本部

〒100-8262 東京都千代田区丸の内1-6-5
【お客様相談室】0120-575-078

詳しくはこちらへ

www.es.bayer.jp

検索

お問い合わせ先